

JAPAN VENTURE AWARDS 2019

2019.2.5 Tue.

【開演】13:30～〈表彰式 15:35～〉

【会場】虎ノ門ヒルズフォーラム 5F

JVA2019 レポート

中小機構(正式名称:中小企業基盤整備機構)は経済産業省所管の独立行政法人で、
中小企業施策の総合的な実施機関としての役割を果たしています。

あなたの 挑戦の力になる

— 日本のベンチャー起業家の頂点、発表 —

Japan Venture Awardsは、
革新的かつ潜在成長力の高い事業や、
社会的課題の解決に資する事業を行う、
志の高いベンチャー企業の経営者を称える表彰制度です。
2000年以来、289名のベンチャー経営者等が受賞し、
それぞれの事業とともに
日本を支えるリーダーへと成長を遂げています。
次なる日本のリーダーとして果敢に挑戦する起業家を、
ロールモデルとして広く紹介することで、
創業機運を高め、日本における創業の促進を図ります。

JAPAN
VENTURE
AWARDS
2019



▶ 応募対象

創業後概ね15年以内^{*1}であり、高い志を持ち、自立する中小企業など^{*2}の経営者又は代表者

※1 社歴に関わらず、経営の多角化や事業転換により、新事業展開した場合を含む
 ※2 企業を主な対象といたしますが、NPO法人、LLC(合同会社)などの応募も可能とします。

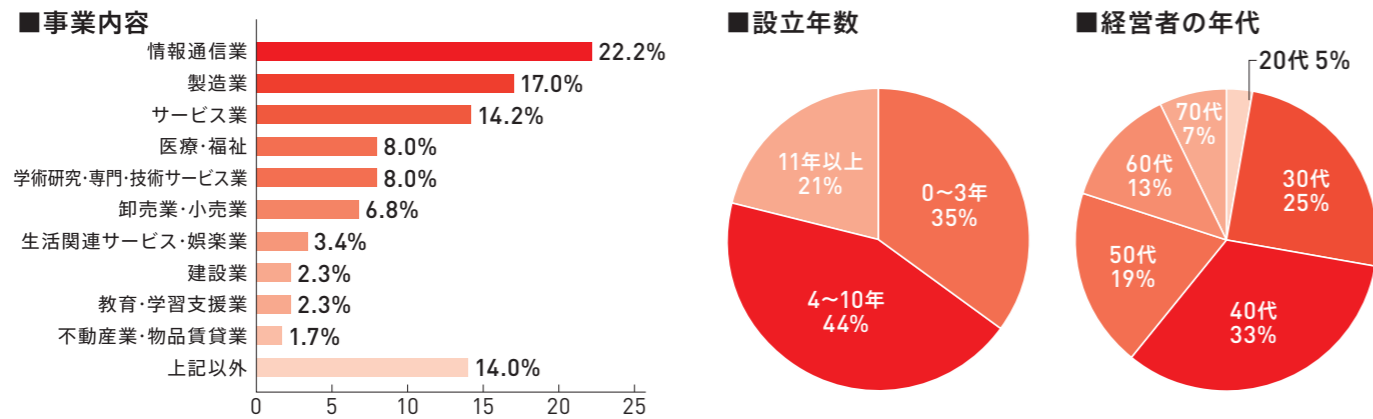
▶ 中小企業について

募集対象とする中小企業などは、下記のいずれかに該当する個人事業主、法人又はそれらによって構成される組織とし、活動主体が国内にあるものとします。(中小企業基本法より)

- 製造業その他……資本金3億円以下、又は常時使用する従業員が300人以下
- 卸売業……資本金1億円以下、又は常時使用する従業員が100人以下
- 小売業……資本金5千万円以下、又は常時使用する従業員が50人以下
- サービス業……資本金5千万円以下、又は常時使用する従業員が100人以下

▶ JVA2019応募状況 JVA2019 応募数: 176件

創業間もないベンチャーから、第2創業に取り組む中小企業まで、幅広い業種・社歴の経営者から応募いただいています。年代層も20~70代まで幅広く、多様性に富んだベンチャー経営者の発掘につながっています。



▶ 審査基準

革新性、成長性、経営者の資質、社会性について審査を行います。

▶ 審査員

有識者で構成されたJVA2019審査委員会で審査します。

JVA2019審査委員会(敬称略・順不同)

- 長谷川 博和 氏 早稲田大学 大学院経営管理研究科 教授/日本ベンチャー学会 副会長
- 江口 弘一 氏 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 イノベーション推進部長
- 小野 由理 氏 株式会社三菱総合研究所 オープンイノベーションセンター長
- 仮屋 園 聡一 氏 一般社団法人日本ベンチャーキャピタル協会 会長
- 平尾 孝憲 氏 国立研究開発法人科学技術振興機構 産業共同開発部長
- 二瀬 克規 氏 株式会社悠心 代表取締役社長
- 森田 博行 氏 独立行政法人中小企業基盤整備機構 経営支援部長

ベンチャーキャピタリスト奨励賞

▶ 応募対象

現在、ベンチャー企業に対して支援を行っており、今後も継続して活動するベンチャーキャピタリスト

▶ 審査基準

これまでのベンチャー企業に対する支援活動内容・実績、イノベーション・社会への貢献度について審査します。

▶ 審査員(敬称略・順不同)

- 長谷川 博和 氏 早稲田大学 大学院経営管理研究科 教授/日本ベンチャー学会 副会長
- 高乗 正行 氏 株式会社チップワンストップ 代表取締役社長
- 赤浦 徹 氏 一般社団法人日本ベンチャーキャピタル協会 副会長
- 森田 博行 氏 独立行政法人中小企業基盤整備機構 経営支援部長
- 市川 隆治 氏 一般財団法人ベンチャーエンタープライズセンター 理事長

経済産業大臣賞

事業内容、活動実績、経営者の資質や社会的な評価(貢献度)などを総合的に評価の上、他の企業の模範として相応しい極めて優秀な経営者。

中小企業庁長官賞

事業内容、活動実績、経営者の資質などを総合的に評価して特に優秀な経営者。

中小機構理事長賞

優秀な事例のうち、公的支援策などを有効活用した模範的な事例となる経営者。

JVA審査委員会 特別賞

- SDGs推進特別賞
- eコマース推進特別賞

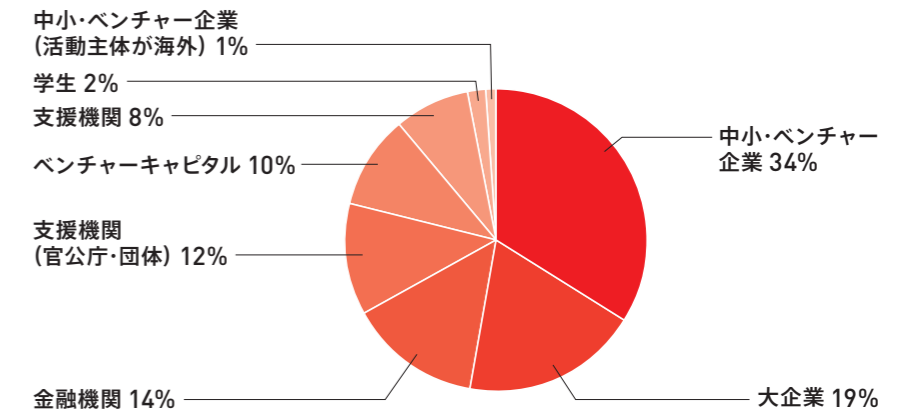
上記以外で、事業その他の特徴と経営者を総合的に評価して、テーマ別に特別表彰を行う。

ベンチャーキャピタリスト奨励賞

活動内容、活動実績、イノベーションへの貢献度、社会への貢献度等を総合的に評価の上、今後の活躍が期待されるベンチャーキャピタリスト(事業会社の投資担当者を含む)。

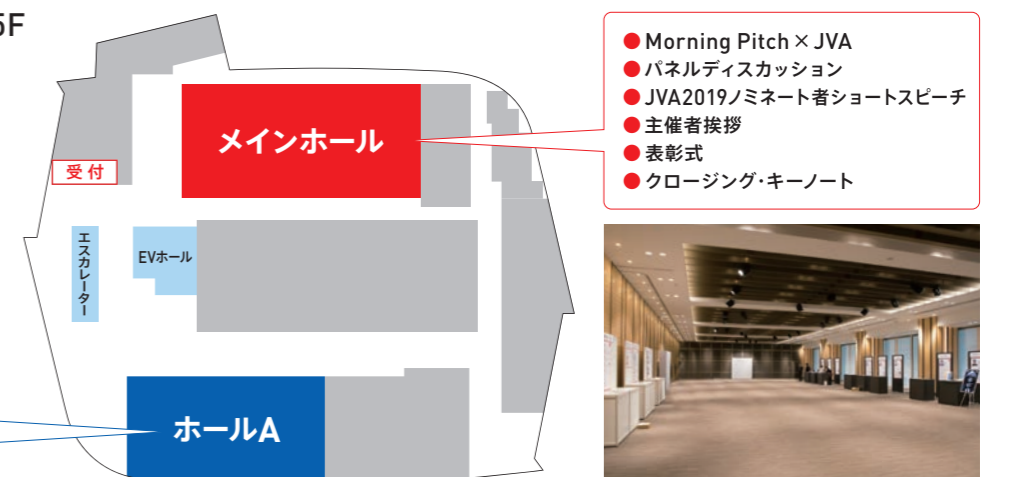
来場者属性

表彰式当日は、ベンチャー経営者、大手企業、支援・金融機関など、ベンチャー企業に関心の高い様々なジャンルの方が集まり、出会いと交流の場となっています。



会場図

会場: 虎ノ門ヒルズフォーラム 5F



<p>13:30~14:10</p>	<p>Morning Pitch × JVA Morning Pitch Special Edition 2019の最優秀賞、オーディエンス賞の2社、JVA2018ベンチャーキャピタリスト奨励賞受賞者2名とその投資先企業経営者が登壇し、ショートプレゼンを展開しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶WAmazing株式会社 代表取締役社長 CEO 加藤 史子氏 ▶株式会社ムスカ 代表取締役 暫定CEO 流郷 綾乃氏 ▶プライマルキャピタル 代表パートナー 佐々木 浩史氏 ▶投資先: 株式会社フォトラクション 代表取締役 CEO 中島 貴春氏 ▶モバイル・インターネットキャピタル株式会社 ディレクター 元木 新氏 ▶投資先: SALES ROBOTICS株式会社 代表取締役社長CEO 内山 雄輝氏 	 
<p>14:10~14:50</p>	<p>パネルディスカッション "Go Global!!" グローバルベンチャーへの挑戦 ベンチャー企業のグローバル展開の支援を行う3法人の代表が、世界で活躍するために必要なことについて熱く語り合いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶株式会社ゼロワンブスター 共同代表取締役 合田 ジョージ氏 ▶一般財団法人エンデバー・ジャパン 代表理事 高野 真氏 ▶SV Frontier LLC CEO 鈴木 陽三氏 <p>モデレーター ▶学校法人先端教育機構事業構想大学院大学/社会情報大学院大学 イノベーション推進局 局長 織田 竜輔氏</p>	 
<p>14:50~15:20</p>	<p>JVA2019 受賞候補者ショートスピーチ JVA2019ノミネート者8名が登壇、自社PR・プレゼンテーションを行いました。</p>	

<p>15:30~15:35</p>	<p>主催者挨拶 独立行政法人中小企業基盤整備機構 理事長 高田 坦史 「日本のモノづくり力や研究開発力を活かし、世界に向けてイノベーションを起こそうとしている方々や、AIなどの革新的技術を活用し、社会課題の解決を図り、新たな価値創造をもたらそうとしている方々に多くのご応募をいただいた。また、昨今、国全体でも推進が加速しているSDGsに貢献する取り組みも数多く見られた。応募者のレベルは年々上がっており、時代の先駆者として、日本の未来を切り拓いて頂けるものと期待している。本表彰を通じて、我が国のベンチャー企業の創出が促進されることを大いに期待している。」と挨拶しました。</p>	
<p>15:35~16:15</p>	<p>来賓挨拶 経済産業大臣政務官 滝波 宏文氏 「政府として、開業率を欧米諸国並みの10%台にするという目標を掲げている。その実現に向けて、昨年法改正を行い、従来の創業支援に加えて、創業機運を醸成する普及啓発事業も新たに開始したところ。また、政府は昨年、企業価値が10億ドル以上のベンチャー企業、いわゆるユニコーンを2023年までに20社創出するという、新たな目標を掲げており、グローバルに活躍するスタートアップを官民集中支援する「J-Startup」プログラムをスタートする等、グローバルで戦い勝てる企業の創出にも取り組んでいる。本日受賞した皆様が、「ベンチャー立国日本」の旗手となり、益々活躍されることを心から期待している。」と挨拶されました。</p> <p>表彰式 〈プレゼンター〉</p> <ul style="list-style-type: none"> □経済産業大臣賞.....経済産業大臣政務官 滝波 宏文氏 □中小企業庁長官賞.....中小企業庁長官 安藤 久佳氏 □中小機構理事長賞.....独立行政法人中小企業基盤整備機構 理事長 高田 坦史 □JVA審査委員会特別賞.....JVA2019 審査委員長 長谷川 博和氏 □ベンチャーキャピタリスト奨励賞..... 	 
<p>16:15~17:00</p>	<p>ベンチャーキャピタリスト奨励賞 審査講評 「ベンチャー企業が成長するためには、ベンチャーキャピタリストの存在が重要です。今回受賞されたお二人は、それぞれメルカリ、ラクスルという日本を代表する会社に出資しているところを評価させていただきました。」と講評されました。</p> <p>受賞スピーチ 株式会社FLOSFIA 代表取締役社長 人羅 俊実氏 「このような貴重な賞をいただきまして、心よりお礼申し上げます。普段のコツコツとした地味な業務が、このような場で認めいただけるのは本当にありがたいと思っております。当社のメンバー、当社にご尽力いただいている多くの方々に胸を張って「皆様のおかげです。」と言える賞だと感じております。」とスピーチされました。</p> <p>審査講評 「革新性・成長性・経営者の資質・社会性を審査項目に置いて厳正に審査しました。日本から世界を代表する会社をつくっていきたいと思い、この事業を行っておりますが、今回表彰された方々は、十分世界に挑戦できるレベルに達していると思っております。これから更に奮起して世界に飛躍できるメガベンチャーになっていただくことを祈念しております。」と講評されました。</p>	 
<p>16:15~17:00</p>	<p>クロージング・キーノート スタートアップが挑む産業変革 「ソフトウェア開発のアプローチは、新しいワークフローそのものをつくってシステムに落とし込みます。そして、実際にお客さまが使いやすいデザインであるかをもっとも重視します。お客さまの問題を観察によって特定して、それをデザインによって使われるものに落とし込み、プラットフォームとすることで産業の構造改革をする。垂直統合されていた産業を水平型にアップデートしていきます。」と語りました。</p> <p>▶ラクスル株式会社 代表取締役社長CEO 松本 恭攝氏</p>	
<p>17:15~18:15</p>	<p>マッチングラウンジ・名刺交換 JVA2019受賞者を含むベンチャー企業、創業支援者(金融機関やVC、エンジェル投資家、支援機関等)、大手企業、創業を志す方など多くの来場者が集まり、幅広く交流を深めました。JVA2019受賞者の展示も行われました。</p>	

JAPAN
VENTURE
AWARDS
2019



JVA2019 受賞者

経済産業大臣賞



人羅 俊実氏
株式会社FLOSFIA
代表取締役社長

中小企業庁長官賞



竹延 幸雄氏
株式会社KMユナイテッド
創業者・取締役社長

中小企業庁長官賞



中島 徳至氏
Global Mobility Service
株式会社
代表取締役 社長執行役員/CEO

中小機構理事長賞



秋枝 静香氏
株式会社サイフューズ
代表取締役

中小機構理事長賞



中西 敦士氏
トリプル・ダブリュー・ジャパン
株式会社
代表取締役

中小機構理事長賞



水野 雄介氏
ライフイズテック株式会社
代表取締役CEO

SDGs推進特別賞



秋田 智司氏
WASSHA株式会社
代表取締役CEO

eコマース推進特別賞



上ノ山 慎哉氏
スタークス株式会社
代表取締役

ベンチャーキャピタリスト奨励賞



手嶋 浩己氏
XTech Ventures
共同創業者 兼
ジェネラルパートナー



野内 敦氏
株式会社オプトベンチャーズ
代表取締役



経済産業大臣賞

Toshimi Hitora

人羅 俊実

株式会社FLOSFIA
代表取締役社長

【会社所在地】〒615-8245 京都市西京区御陵大原1番36号

【事業紹介】画期的な新材料「コランダム構造酸化ガリウム」を用いた超低損失・低コストなパワー半導体の事業化と独自成膜技術「ミストドライ®法」の応用展開



【PROFILE】

1975年生まれ
奈良先端科学技術大学院大学 バイオサイエンス研究科修士課程修了
2005年 ALGAN株式会社代表取締役社長
2012年 株式会社FLOSFIA(当時ROCA株式会社)代表取締役社長(現任)

【創業年】 2011年

半導体領域のリアルアントレプレナー。2011年創業のFLOSFIAでは、急成長が期待される産業領域である「電動化」「自動化」「IoT」において、「小型」「低損失」のキーとなるパワー半導体の開発に注力。誰も注目していなかった新材料を用いて、世界トップデータを実現するなど事業を牽引している。

【座右の銘】 無一物中無尽蔵

「どう生き、どう死ぬか」の 自問自答から、起業を決意！

若かりし日々の生死を感じる日々がきっかけです。学生時代はバイオの研究を通じ、メカとしての生命を探索しました。真逆の方向から生きることを決めて新卒入社で選んだ老人ホームでは、生死の境を数多く目の当たりにし、人生の先輩たちの背中に刺激を受ました。起業領域として半導体の分野を選んだのは、偶然です。京大が偶然にも見出した奇跡の半導体に出会い、事業化を推進しています！

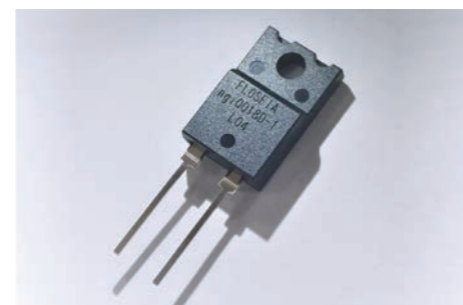
会社の特徴

材料分野から世界を変える！ ～京大発ベンチャーが産業革命を起こす～

京大発ベンチャーとして電力変換器の技術革新にチャレンジしています。新材料「酸化ガリウム」をパワー半導体に活用し、機器の小型化や電気ロスの低減に貢献します。特に「動く」ことの技術革新が求められている領域、例えば、電気自動車やロボットの領域において、材料技術・ものづくり分野から、技術革新に貢献します！



▲J-startup企業に認定！



▲FLOSFIAのGaO®パワー半導体

事業・サービスの強み

パワー半導体は電気自動車の新三種の神器！ 技術革新が求められている

FLOSFIAでは、世界に先駆けてα-Ga₂O₃を用いた「GaO®デバイス」を開発し、従来比最大9割の電力損失低減に成功しました。現在、最初の商品であるダイオードの量産準備中で、特許出願数は300件を超えています。ロボットの駆動回路や電気自動車をはじめ、エアコンや冷蔵庫などの白物家電、太陽電池のパワーコンディショナなど、さまざまな電力変換器への搭載目指しています。

受賞ポイント

京都大学発ベンチャー企業として、同社が量産化を目指すパワーデバイスは、超低損失で低コストを実現可能にする製品。その適用範囲は、民生品から産業用機器まで幅広く、今後の成長性が大いに期待される点、事業化に向けて着実な成果を上げている点とともに、事業展開面での戦略性が高く評価された。



中小企業庁長官賞

Yukio Takenobe

竹延 幸雄

株式会社KMユナイテッド
創業者・取締役社長

【会社所在地】〒606-0801 京都府京都市左京区下鴨宮河町7番地

【事業紹介】塗装業を中心としながらも縦割りの建設業に横ぐしを刺す新たな施工展開(多能工化・高付加価値化)、建設関連資材・建設向けHRテックの事業運営(開発・知財・商品化)



【PROFILE】

1973年生まれ
関西学院大学大学院経営戦略研究科
早稲田大学卒業後、民間企業勤務を経て2003年妻の実家である老舗塗装会社(株)竹延に入社。2013年(株)KMユナイテッドを起業。経済産業省ダイバーシティ普及アンバサダー、国土交通省特別委員会委員(見える化キャリアアップ検討会・建設業イメージ戦略運営委員会)、関西学院大学グローバル・アントレプレナーシップ教育センター客員研究員・ハッピーキャリアプログラムエグゼクティブパートナーを歴任。

【創業年】 2013年

広島生まれ。女性や若手職人の育成や定着が全国的に注目を集め、2016年 経済産業大臣表彰「新・ダイバーシティ経営企業100選」、2017年 厚生労働大臣表彰「働きやすく生産性の高い企業・職場表彰」、2018年 厚生労働大臣表彰「グッドキャリア企業アワード2018」を受賞するなど各方面から高い評価を受ける。さらには人財育成の中で新たに見出した課題をビジネスチャンスととらえHRテック・新建材などの開発の分野にも果敢に挑もうとしている。

【座右の銘】 ワシがやらねば誰がやる

「人材育成こそ最強の経営戦略である」 ～ダイバーシティ経営から事業変革へ～

古い体質の建設業界において、現場変革と同時に事業変革にも取り組もうとする経営戦略は、広範すぎて集中が図れないと起業した際に不安視されました。しかし、私達の取り組みは、すべて「人の変革」という基点でつながっているという確信があります。人をいかに育てるか、その育った人をどう活かすか。その結果が、人材不足の解消、技能伝承の仕組みづくり、ブルーオーシャンの創造という誰にも譲れない想いを現実に行っています。

会社の特徴

日本発・人材育成をキーデバイスに 世界へ挑戦する企業

大手企業ですら、採用難に直面する状況が続いています。特に建設業は厳しく、中小企業にとっては絶望的な状況とも言えます。そんな中、関西の老舗塗装会社・(株)竹延からスピンアウト。「人材育成を根幹に据えた経営戦略」で躍進し、全国から注目を集め、清水寺で歴史上はじめて入社式を行いました。それが竹延幸雄率いる、人材育成を経営戦略の新機軸とした「KMユナイテッド」です。

事業・サービスの強み

デジタル×匠の技 時間軸を超えて成長する人材育成支援サービス

高齢化が進む建設業では、若い職人が地域・会社の垣根を越えて、一流の技能を習得し、短期間で成長できる仕掛けが必要です。そこで、熟練工の技能を動画で学べるアプリ「技ログ」を開発しました。そうした独自のアイデアにICTを掛け合わせ、見える化することで、海外人材からも「選ばれる日本、その中でもっとも働きたい企業」を目指します。



▲はじまりは一人の「ママ職人」



▲技能伝承アプリ「技ログ」

受賞ポイント

ダイバーシティ経営の推進による従来の雇用・育成形態からの脱却、最新技術の積極活用による伝統産業の活性化など、社会的意義の高い取り組みに果敢に挑戦し、短期間で成長性のある事業に育てた実績及び他の業界にも大いに模範となる点が高く評価された。



中小企業庁長官賞

Tokushi Nakashima

中島 徳至

Global Mobility Service 株式会社
代表取締役 社長執行役員/CEO

【会社所在地】〒105-0012 東京都港区芝大門1丁目12番16号 住友芝大門ビル2号館 4F

【事業紹介】世界で20億人の車を購入したくともファイナンスの審査に通過できない人々に、ファイナンスを利用でき生活を豊かにするFinTechサービスを国内外で展開しています。



【PROFILE】

1967年生まれ
東京理科大学大学院 修了
これまで3社を起業したシリアルアントレプレナー。2社目をフィリピンにて起業し赴任中、多くの人々が与信審査に通過できず車の購入や利用ができないという現実を目の当たりにし、Global Mobility Service 株式会社を設立。モビリティサービスを通じて真面目に働く意思のある貧困層に対して与信審査に通過する仕組みを構築し、FinTechサービスを提供している。

【創業年】 2013年

主な受賞歴に、2018年4月世界最大のグローバル起業家コミュニティであるエンテパーにて「エンテパーアントレプレナー」に選出。2018年11月経済産業省「SDGs経営/ESG投資研究会」委員に選出。同月Forbes JAPAN「日本の起業家ランキング2019」にてBEST10に選出など。学会活動多数。

【座右の銘】 不撓不屈

FinTechサービスを通じて、 真面目に働く人が 正しく評価される仕組みを創造する

フィリピンでEVメーカーを運営していた際、EVを求める人々が多いものの、その大半が貧困層であるため、あらゆる金融機関のローンが利用できず、街には排ガスと騒音をまき散らかす経年劣化した車両が溢れかえっていました。このような状況ではいくら環境に優しい車両を提供したくとも、全く意味はなさないと考え、世界各地の貧困層でもローンが利用できる画期的なサービスを提供するために2013年にGMSを設立しました。

会社の特徴

世界の20億人を救う

GMSは世界を舞台に金融包摂(Financial inclusion)の実現に向け取り組んでいる会社です。創業以来、私たちの活動はSDGsと合致した取り組みにより、地球規模での課題解決を行っております。従来の金融にアクセスできない貧困層に対して、GMSはこれまでフィリピンを始めASEAN各国で金融にアクセスできる仕組みを作って参りました。世界の20億人が求めるFinTechサービスを提供していきます。

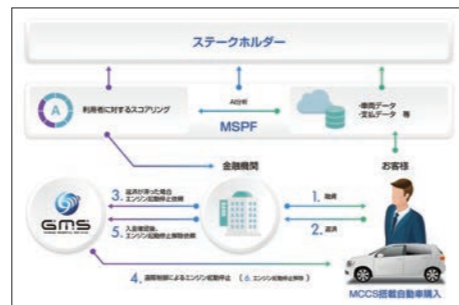


▲毎回数百名が登壇するローン完済者会の一幕

事業・サービスの強み

最先端IoTによるFinTechサービスが生み出す、 新たなモビリティの価値創造

車両の情報収集のみならず、遠隔でのエンジン起動制御をあらゆる車種に後付けで実現するIoTデバイス(MCCS)、情報を蓄積・分析しOpenAPIを通じて金融サービスにおける与信創造に活用するプラットフォーム(MSPF)は、弊社独自技術として特許を取得し、ASEAN各国でサービスを提供しております。1%を切る驚異的な貸倒率の低さにより、国内外の大手金融機関から多くの引き合いをいただいております。



▲GMSが提供するローン&情報活用の概要図

受賞ポイント

IoT技術を活用したFinTechサービスで、革新性のあるビジネスモデルを確立。今後、途上国を中心にグローバルでのニーズがますます高まるものと期待され、低所得者層の生活の質の向上という社会課題の解決にも貢献する取り組みである点が高く評価された。



中小機構理事長賞

Shizuka Akieda

秋枝 静香

株式会社サイフューズ
代表取締役

【会社所在地】〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学アントレプレナープラザ

【事業紹介】細胞版3Dプリンタを用いた三次元細胞製品の開発
①再生医療等製品及び細胞製品の開発 ②創業支援ツールの開発
③細胞版3Dプリンタの開発・販売等



【PROFILE】

九州大学大学院理学研究科生物学専攻
九州大学病院での研究活動を経て、シーズの事業化に伴いサイフューズ創業メンバーとして事業開発に従事、現在に至る。

【創業年】 2010年

細胞のみからなる組織・臓器を患者さまにお届けしたい!現場で苦しんでいる患者さまのために少しでも貢献したい!想いを共有する社内外多くのメンバーと共に再生医療業界並びに新しい社会を創って参ります。サイフューズの活動を通して、教育・医療・スポーツへの貢献を目指します。

【座右の銘】 勇往邁進、前へ!

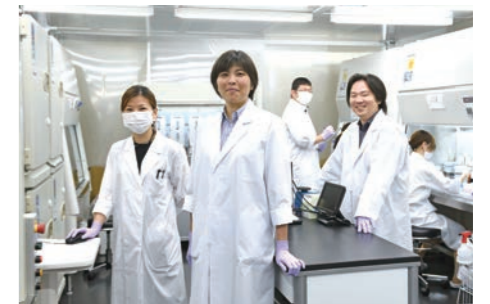
「FUSION」 ～英知凝集・融合・連携による 新しい社会の創出～

細胞のみからなる組織・臓器を患者さまにお届けしたい!現場で苦しんでいる患者さまのために少しでも貢献したい!その思いから、九州大学病院での研究活動を事業化し、創業メンバーとしてサイフューズを立ち上げ、多くの方々から御支援を頂きながら、現在、国内外多くのサポートメンバーとチーム体制を構築し、日本初・発の技術を世界に広げ、世界中の患者さまに新しい医療・治療の選択肢をお届けすべく日々邁進しております。

会社の特徴

サイフューズ独自の革新的技術で 新しい再生医療という「希望」の実現を目指す

サイフューズは、細胞のみから成る立体的な細胞構造体をヒトへ移植することで、これまで不可能とされていた病気がケガで機能不全になった組織・臓器等を再生させ、多くの患者さまに貢献することを目指す再生医療ベンチャーです。バイオロジーとエンジニアリングを巧みに融合させ生み出された独自の革新的技術を通じて、研究機関や企業間でのコラボレーションの要となり、再生医療の未来の飛躍的な進歩に貢献します。

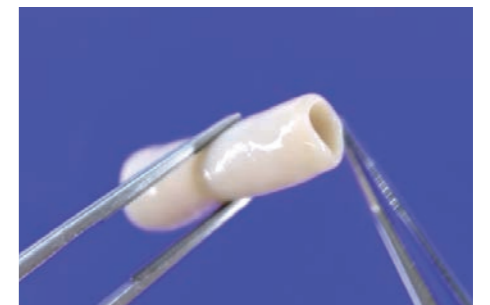


▲「患者さまのために」チーム一丸となって

事業・サービスの強み

「細胞100%」で組織・臓器を作製する 革新的技術で再生・細胞医療の未来を拓く

サイフューズは、人工材料を用いずに、細胞のみからなる立体的な細胞構造体を作製するという独自の三次元細胞積層技術を用いた事業を再生・細胞医療の分野を中心に多面的に展開しています。この革新的技術を搭載したデバイスを通じて基盤技術の普及を進め再生・細胞医療の発展を支えるとともに、この技術で実用化した細胞製品を一日も早く患者さまへお届けできるよう、多くの開発パートナーとともに共同開発を進めています。



▲細胞版3Dプリンタで作製した細胞製血管

受賞ポイント

細胞を三次元に積層し、再生医療に貢献する取り組みは、イノベティブであり、再生医療分野に革新と、大きな社会的意義をもたらすものであり、日本が世界に誇る技術として、グローバル展開も期待できる点が高く評価された。



中小機構理事長賞

Atsushi Nakanishi

中西 敦士

トリプル・ダブリュー・ジャパン株式会社
代表取締役

【会社所在地】〒100-0006 東京都千代田区有楽町一丁目5番2号 東宝ツインタワービル3階

【事業紹介】排泄予測デバイス「DFree(ディー・フリー)」の企画・開発・販売を行う。日本・アメリカ・フランスにて、介護施設向けと個人向けのプロダクトを販売。



【PROFILE】

1983年生まれ
慶應義塾大学商学部
大学卒業後、大手商社や通信会社向けに、医療分野を含む新規事業の立ち上げのコンサルティング業務に従事。その後、2012年、青年海外協力隊にてフィリピンに赴任し、マニラ麻農家の収入向上プロジェクトを、大手商社、製紙メーカー、フィリピン政府と組んで実行する。2013年よりUCパークレー校でビジネスを学ぶ。2015年2月、トリプル・ダブリュー・ジャパン株式会社を設立し、代表取締役就任。

【創業年】 2015年

〈主な講演等の実績〉
・厚生労働省「保健医療分野におけるAI活用推進懇談会」
・経済産業省「ジャパン・ヘルスケアビジネスコンテスト2017」グランプリ
・北九州市「介護ロボット開発コンソーシアム」顧問
・自由民主党「人工知能未来社会経済戦略本部及び経産部会」
〈著書〉
「10分後にうんこが出ますー排泄予測デバイス開発物語ー」(新潮社)

【座右の銘】 世界を一步進める

「DFree=Diaper Free」に 込められた想い おむつから人々を解放する

これまで誰も解決したことのない、大きな課題に対して挑戦します。世界では、5億人が排泄に関する悩みを抱えており、中でも高齢者介護の分野において、排泄ケアは大きな負担となっています。私たちは、世界初の排泄のタイミングを予測するというサービスを創造し、日本が誇るものづくりの技術と、課題先進国である日本の介護領域における最先端のプロダクトを、世界中に広めていきたいと考えています。

会社の特徴

これまで誰も開発したことのない プロダクトを創造することに挑戦する会社

排泄で悩んでいる方々にこのサービスを届けたいという想いから、アイデア以外は何もない状況からプロダクトを開発しました。事業化するまでには、多くの困難がありましたが、その想いに賛同するメンバーや企業、国・地方自治体など、多くの方々からの支援によりプロダクトを世の中に送り出すことができました。たとえ困難なことでも、1人でも多くの方の悩みが解決できるのであれば挑戦を続けたい、それが私たちの想いです。



▲メンバーの体内を超音波で見る実験風景

事業・サービスの強み

自立支援により、利用者が 人生をいきいきと楽しめる世界へ

超音波の技術により、膀胱の大きさを捉え、排尿のタイミングを事前にお知らせする世界初のサービスです。トイレのタイミング通知することで、トイレ誘導などで自立排泄を促し、利用者の自立支援に寄与するサービスとして、介護施設や在宅介護などの分野で活用されています。また、日本だけではなく、海外での事業も展開しており、今後、DFreeによる排泄ケア及びリハビリのグローバルスタンダードを確立していきます。



▲DFree機器及びアプリサービス

受賞ポイント

これまで世界になかった、排泄のタイミングを予測するウェアラブルデバイスの開発・販売を通じて、介護負担の軽減やQOL向上という社会課題の解決に取り組んでいる点が高く評価された。



中小機構理事長賞

Yusuke Mizuno

水野 雄介

ライフイズテック株式会社
代表取締役CEO

【会社所在地】〒106-0047 東京都港区南麻布2-12-3 南麻布ビル1F

【事業紹介】中高生向けIT・プログラミング教育キャンプ/スクール/イベントの企画・運営、ならびにオンラインプログラミング教育サービスの開発・運営



【PROFILE】

1982年生まれ
慶應義塾大学理工学部物理情報工学科卒、同大学院修了
在学中、開成高等学校の物理非常勤講師を2年間務める。その後、人材コンサルティング会社の株式会社ワイキューブを経て退社。2010年にライフイズテック株式会社を設立。

【創業年】 2010年

小学2年から高校3年生まで野球一筋、ポジションはセカンド。「日本のIT業界にイチロー並みの人材を送り出す！」ため、世界を駆け巡る。

【座右の銘】 Why Don't You Change the World ?

日本のIT業界に イチロー並みの人材を送り出す！

教師を志して大学院に進み、在学中に開成高校で物理の非常勤講師を務めました。生徒から「ゲームを作りたいけどやり方が分からない」と相談されることが多かったのですが、当時はITを学ぶ場所も機会もありませんでした。生徒の可能性を伸ばすためにはIT教育が必要と考えました。米シリコンバレーのスタンフォード大学で、キャンプ方式のプログラミング教育を視察したことがきっかけで、現在のサービスを始めました。

会社の特徴

中高生ひとり一人の可能性を最大限伸ばす

中高生向けIT・プログラミング教育サービスです。2018年現在、延べ3万7000人がキャンプ・スクールに参加し、国内最大規模です。高知県や福岡県飯塚市など32自治体とも連携し、IT×教育で地域の未来づくりをしています。これまで700人の教員に対し、キャンプ等を開催したり教材を提供したりしています。月刊情報誌「日経トレンディ」(2018.12月号)の特集「世界を変えるスタートアップ」で大賞受賞。



▲スクールの学習風景。女子生徒は約四割。

事業・サービスの強み

キャンプ・スクール・オンライン …最高の「空間」で、最強の「魔法」を手に入れよう！

2018年4月には、ディズニーと共同開発したオンライン学習教材「テクノロジ魔法学校」を発売しました。楽しみながら本格的なプログラミング学習をできるのが特徴で、発売から半年の10月時点で3億円を超える売上をあげています。購入者の6割が女性で、プログラミング人口の裾野を広げています。「日経トレンディ」(2018.12月号)が発表した「2019年ヒット予測ランキング」では、15位にランクイン。



▲「テクノロジ魔法学校」 ©Disney

受賞ポイント

中高生向けIT教育プログラムでは、国内最大級を誇っており、楽しみながら学べるサービスの提供は、社会的ニーズにも合致。今後、日本の人材競争力を高める上で、その社会貢献性が高く評価された。



SDGs推進特別賞

Satoshi Akita
秋田 智司

WASSHA株式会社
代表取締役CEO

【会社所在地】〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学アントレプレナープラザ305号室
【事業紹介】電力の「量り売り」サービス、および照明・ITデバイスのレンタルサービス等を通じて、開発途上国の未電化地域に暮らす人々に「新しい体験」を提供



<p>【PROFILE】 1981年生まれ 早稲田大学大学院商学研究科修了 拓殖大学国際開発学部卒業。早稲田大学大学院商学研究科修了。2006年にIBMビジネスコンサルティングサービス株式会社(現日本IBM)に入社し、ITを活用した新規事業開発や業務プロセス改善等のプロジェクトに従事。2010年に友人と共にNPO法人socket(ソケット)を共同設立し、2011年のIBM退職後は、同NPOの専任コンサルタントとして日本企業の途上国進出支援に携わる。2013年に東京大学の阿部力也教授とWASSHA株式会社を共同創業し、タンザニアで電気の量り売りサービスを展開している。</p>
<p>【創業年】 2013年</p>
<p>【座右の銘】 出来ない理由を考えるのではなく、どうしたら出来るかを考える</p>

Power to the people

世界には、電力にアクセスできない人々が10億人以上いると言われており、そのほとんどがサハラ砂漠以南のアフリカ諸国やアジアの新興国に住んでいます。弊社は、電化が進んでいないタンザニアにおいて、太陽光発電によるクリーンな電力を、誰にでも手の届く場所に、手の届く価格で提供する「電力の量り売り」サービスを展開しています。

会社の特徴

ビジネスを通じて、 開発途上国の社会課題を解決する

リソースの制約を前提にせず、途上国の人々のニーズを前提にした事業を、可能な限り早く開発・展開することを重要視しています。最新のテクノロジーの活用や途上国への適応化を追求しつつ、日本と途上国の人々の協力のもと、社内に積極的に新しい流れを取り入れながら、事業拡大を目指しています。



▲タンザニアオフィスのメンバー

事業・サービスの強み

現場に根差した業務プロセスを構築し、 お客様が本当に欲しいものをサービスとしてお届けする

アイデアは発想するだけでなく、実現させることにこそ価値があると私たちは考えます。100人超のアフリカ現地メンバーと共に、現地に根差した最適な業務プロセスを構築、その徹底に向けて妥協せずに改善を繰り返しています。この経験を活かし、今後、価値ある製品・サービスをアフリカ市場に投入したいと考える日系企業に対して、単なる調査ではなく、そのあとの業務構築まで含んだサポートを提供していきます。



▲LEDランタンと売電関連機材

受賞ポイント

アフリカの未電化地域への電力量り売りというサービスを、IoTやモバイルペイメントを通じて実現した革新的なビジネスモデルとグローバルな社会課題の解決に寄与する取り組みであり、今後の事業展開による成長が期待される。



eコマース推進特別賞

Shinya Uenoyama
上ノ山 慎哉

スタークス株式会社
代表取締役

【会社所在地】〒141-0031 東京都品川区 五反田1-21-8 KSS五反田ビル5F
【事業紹介】・クラウド型・物流プラットフォームサービス「クラウドロジ」
・LINE@に特化したカスタマーサポートツール「CScloud」



<p>【PROFILE】 1983年生まれ 専修大学 卒業 1983年新潟生まれ。大学卒業後、株式会社ファインドスターに入社。新規事業開発、ダイレクトマーケティング支援事業、関連企業の経営に従事。2011年東日本大震災を機に起業を決意。2012年6月同社を退職。2012年7月 スタークス株式会社を創業。</p>
<p>【創業年】 2012年</p>
<p>孫正義氏の後継者プログラム「ソフトバンクアカデミア」最終合格</p>
<p>【座右の銘】 意志あるところに道は開ける</p>

世の不条理を変えたい

幼少期に体験した教育格差から世の中に存在する不条理や不合理を解消したいと思うようになりました。東日本大震災でソフトバンクの孫正義氏が100億円寄付した事に感銘を受けたことから、起業家という生き方を通じて、志を成し遂げようと決めました。

会社の特徴

マーケット・イノベーションで社会課題を解決し、 世界に新しい可能性を拓ける

スタークス株式会社は、「マーケット・イノベーションで社会課題を解決し、世界に新しい可能性を拓ける」をミッションに掲げるベンチャー企業です。現在は、Eコマース市場が抱える人手不足や発送・配送の効率化などの課題を解決するサービスの開発・提供を行っており、将来的には、Eコマース市場だけでなく、世界のさまざまな領域に存在する社会課題をマーケット・イノベーションによって解決することを目指しています。



▲クラウドロジ導入倉庫

事業・サービスの強み

AI技術を活用した需要予測と 倉庫の拠点分散で物流を最適化する

「クラウドロジ」は、AI技術で需要予測し、単一拠点の倉庫ではなく、倉庫の拠点を複数箇所に分散させ、EC事業者の荷物を最適に管理・発送します。事前に需要を予測し、倉庫の拠点を分散させることによって、配送コストを最適化し、長距離ドライバーの負担を軽減したり、正確なシフト管理を組む事を実現させるクラウド型の物流プラットフォームサービスです。



▲AI需要予測イメージ

受賞ポイント

成長を続けるeコマース市場において、AI技術を活用し、EC注文の需要予測を行い、物流の最適化を実現することで、労働力不足という社会課題の解決に貢献しており、今後の事業展開による成長が期待される。

ベンチャーキャピタリスト奨励賞



Hiroki Teshima

手嶋 浩己

XTech Ventures
共同創業者 兼 ジェネラルパートナー

【PROFILE】

一橋大学卒業後、99年に博報堂入社。マーケティングプランナー等を6年経験。その後、06年インターパイア創業時に取締役として参画し、2度の経営統合を経て12年末にユニテッド取締役に。新規事業立ち上げやM&A、ベンチャー投資と幅広く活動。13年から17年まで投資先のメルカリ社外取締役。18年6月にユニテッドを退任し、8月にXTech Ventures共同創業者兼ジェネラルパートナーに就任。

【活動概要】

主に30-40代を想定したミドル起業家のシード～早期期の支援をコンセプトにXTech Venturesを共同創業し、投資家としての活動を開始。それまでは主にネット上場企業のグループ経営、事業立ち上げなど、事業経営者として活動してきた。今後も、経営者と投資家としての活動を並走していく予定。

【代表的な支援先企業】

ユニテッド時代：メルカリ、dely、ワンダープラネット等
現在：クラスター、スペースマーケット等



受賞ポイント

ネットサービス企業を中心に、主にシード投資を行い、特にメルカリでは、創業間もない同社に投資を実行し、初期の広告計画策定支援を行う等、同社の成長に大きく貢献した点が高く評価された。



Atsushi Nouchi

野内 敦

株式会社オプトベンチャーズ
代表取締役

【PROFILE】

オプトホールディング共同創業者。過去数々の戦略子会社の設立・運営に携わる。2013年より投資育成事業の責任者として陣頭指揮を執り、出資先への経営指導やビジネスモデル開発を支援、10年以上に渡り、CVCとして戦略投資も経験した後、2013年より専門の投資チームを組成し、フィナンシャル投資開始(現オプトベンチャーズ)、IPO企業複数社輩出。現在はグループ最高執行責任者も兼務。

【活動概要】

過去の事業立ち上げ経験、経営経験を生かしたハンズオン型投資を基本方針として活動。事業経験が活かしやすい～ミドルステージをメインターゲットとしており、オプトグループの資産を使った支援から、外部リソースの活用まで幅広くネットワークを生かした支援にあたり、起業家の実現したい大きな世界観を応援。

【代表的な支援先企業】

ラクスル(株)、(株)ライトアップ、(株)スペースマーケット、(株)ジモティー等



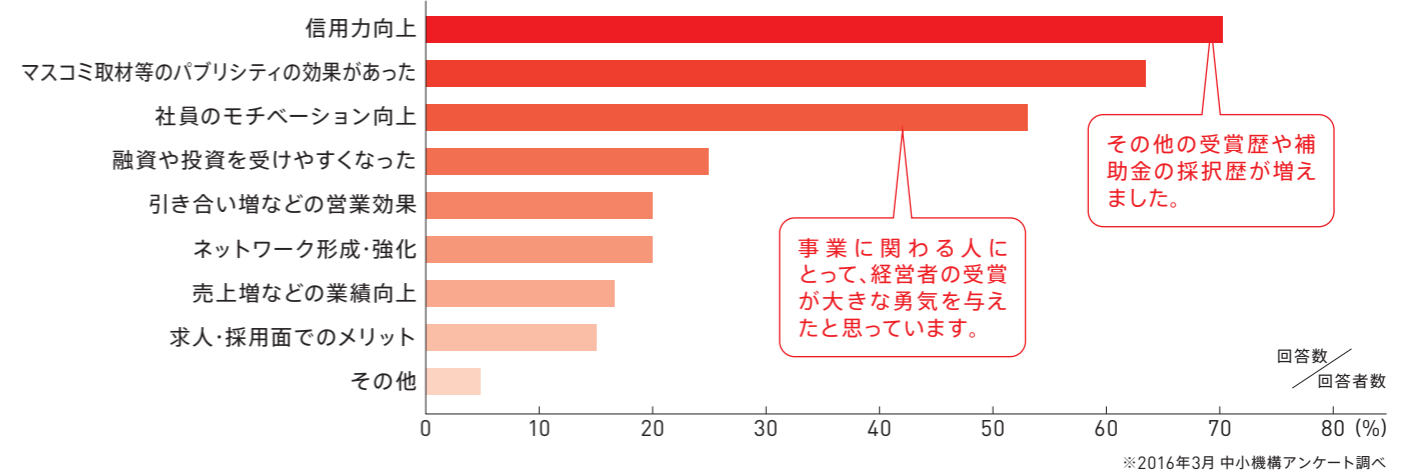
受賞ポイント

自らの新規事業立ち上げ経験や上場経験等を活かしたハンズオン支援、特にラクスル(株)では、当時大きな投資が必要だった同社に対し、多額の投資を実行すると共に、自身の経験をシェアすることで、同社の成長に貢献した点が高く評価された。

実績データ

JVA受賞は、自社の取り組みを広くPRできる機会としても活かされています。受賞をきっかけにメディアに取り上げられるなどにより、販売先や支援先との新たなネットワーク形成にも繋がっています。また、受賞することで社員のモチベーション向上にも寄与しています。

▶ 受賞後の効果



中小機構・JVAピッチ

JVA受賞後、過去受賞者のピッチイベントを開催し、自社事業のPR機会を提供しています。日本最大級のベンチャー企業・大手企業とのマッチングイベント「第6回イノベーションリーダーズサミット (ILS)」内で開催した「中小機構・JVAピッチ」ではこれまでのJVA受賞者や、中小機構インキュベーション施設入居者の9名が登壇しました。

中小機構・JVAピッチ in 第6回イノベーションリーダーズサミット 2018.10.23 Tue. 虎ノ門ヒルズフォーラム

医療・福祉ベンチャー編

- 株式会社ライトニックス 福田 萌 氏 JVA2015 中小企業庁長官賞
- 株式会社ミライロ 垣内 俊哉 氏 JVA2018 経済産業大臣賞
- 株式会社ツーセル 辻 紘一郎 氏 JVA2018 中小機構理事長賞

テックベンチャー編

- 株式会社TBM 坂本 孝治 氏 JVA2016 東日本大震災復興賞
- ポールウェーブ株式会社 赤尾 慎吾 氏
- 株式会社Piezo Studio 井上 憲司 氏
- カディンチェ株式会社 青木 崇行 氏 JVA2016 先端技術活用特別賞
- 株式会社ケミカルゲート 曾我 弘 氏
- 株式会社シスウェーブ 山下 泰弘 氏

スタートアップエンジェル連携推進協議会 会員のご紹介

- 一般社団法人 TXアントレプレナーパートナーズ
- 特定非営利活動法人 インデペンデンツクラブ
- 特定非営利活動法人 広島経済活性化推進倶楽部
- 株式会社ゼロワンブースター
- 株式会社サムライインキュベート
- 株式会社三井住友銀行



JVA事業の主旨にご賛同いただきました協力機関を紹介します。



有限責任 あずさ監査法人

KPMG あずさ監査法人は、「The Clear Choice(私たちは、社会・クライアント・従業員から常に選ばれる存在を目指します)」というVisionの実現に向けて、監査・税務・アドバイザーの全ての分野において、卓越したサービスを提供し続けています。また、あずさ監査法人 企業成長支援本部では、IPO、財務デューデリジェンス等の分野別専門家を配置して情報・知識の蓄積を行うとともに、一元的なサービスを提供しています。KPMG あずさ監査法人は新しいテクノロジーをキーとしたイノベーションエコシステムの構築に皆様とともに取り組んでいきます。



EY新日本有限責任監査法人

EY新日本有限責任監査法人は、監査および保証業務、アドバイザーサービス、税務などの分野における世界的なリーダーであるEYのメンバーファームです。全国に拠点を持つ日本最大級の監査法人であり、監査および保証業務はもとより、各種アドバイザー分野においてクライアントの課題解決と成長を支援しています。これらのサービスを通じて資本市場および社会の健全な発展に貢献することで、より良い社会の構築を目指します。



株式会社NTTデータ

NTTデータは、企業と国の垣根を超えて、オープンイノベーションによる事業創発を目指しています。ベンチャー × 大企業 × NTTデータによるWIN-WIN-WINとなるビジネス創発のため、世界20都市での「オープンイノベーションコンテスト」や「マンスリーフォーラム 豊洲の港から」を実施し、既に10数件の新しい世界のプラットフォームになり得るビジネスを創発しています。世界は急速に新しいプラットフォームに移行しようとしています。我々は常に皆さんからの世界を変えるビジネスの提案をお待ちしています。「さあ、ともに世界を変えていこう」



DRIVE(運営:NPO法人ETIC.)

未来の兆しを示すアイデアやトレンド、起業家インタビューなど未来を創る動きを後押しするコンテンツを発信。スタートアップやソーシャルセクター、また地域の魅力的な企業でのチャレンジングな求人情報やインターン募集も充実。



アントレサロン(運営:銀座セカンドライフ株式会社)

銀座セカンドライフは、創業から10年、これまで延べ7,000人の方の起業を支援してきました。当社は、お客様が「セカンドライフ」で手掛ける事業がスムーズに軌道に乗れるよう、無料起業相談・事務サポート、毎月3,4回開催している異業種交流会でのビジネスマッチング、さらに、首都圏を中心にレンタルオフィス「アントレサロン」運営などを行っています。特にアントレサロンは、8拠点12店舗あり、使い勝手の良さから、会員は現在5,500社を超えています。これからも、一人ひとりのお客様に、信頼され、親しまれる会社を目指しています。



グーグル合同会社

Googleはスタートアップの各段階に合わせて様々なサポートを優先的にご提供します。プロダクト開発フェーズではGoogleの開発者がメンタリングし、マーケット調査や販路開拓といったマーケティングのフェーズにおいてはGoogleのデジタルマーケティングチームが専任体制でサポートします。Googleのグローバルなプラットフォームを最大限活用し、世界で活躍する企業を目指して一緒に成長しましょう。



月刊事業構想

月刊事業構想は、事業構想大学院大学出版部が発行する雑誌&オンラインメディア。新事業開発、イノベーション、地方創生を主テーマとしています。地方自治体首長と幹部に圧倒的な読率があるほか、企業の新規事業開発責任者が読者の過半を占めます。特に、企業トップ、起業家、政治家、官僚といったキーパーソンの構想と具体的事例に焦点を当てた記事が充実しています。また、デザイナー、アスリート、芸術家、クリエイターなど異分野の構想家もとりあげ、多様な視点を提供しています。イノベーションへのアイデア、アライアンス・パートナーの開発などの情報源となっています。



デロイト トーマツ ベンチャーサポート株式会社

「挑戦する人とともに未来をひらく」をミッションに、ベンチャー企業・大手企業・官公庁/地方自治体等が協働し、数多くのイノベーションを生み出す世界を目指し活動しています。主な活動として、国内外約3,000社のベンチャー企業とネットワークを有し、大手企業向けイノベーションコンサルティング・官公庁向け政策提言/実行支援を行っています。また、ベンチャー企業と大企業の事業提携を生み出すプラットフォーム「Morning Pitch」を毎週運営しています。



INNOVATION LEADERS SUMMIT(運営:株式会社プロジェクトニッポン)

大手企業のアセットとベンチャー企業のアイデアやテクノロジーをマッチングし、グローバルイノベーションを生み出すことを目的に経済産業省後援のもと発足。2017年10月に開催した第5回ILSにおいて、メインの事業提携マッチングプログラム「パワーマッチング」は、国内外の主力VCなどで構成する100人のILSアドバイザーボードが推薦する次世代ベンチャー481社と大手企業103社(142部署)が参加、3日間で2272件の商談が行われた。アジア最大級のオープンイノベーションカンファレンス。



日刊工業新聞社

日本のモノづくりを見つめ、伝え続けて一世紀。創業の理念「工業立国」「技術立国」を胸に一貫して日本の産業界とともに歩み、日本の科学技術の発展や産業競争力の強化、中小企業振興に努めてまいりました。新聞を核に産業総合情報機関としての機能をさらに高め、創業・ベンチャー促進をはじめ、活力と創造力あふれる次世代の産業界づくりに貢献していきます。



Fukuoka Growth Next

グローバル創業都市として勢いづく福岡の中心地にある、官民共働型スタートアップ支援施設です。この場所から「将来のユニコーン」を生み出す為、スタートアップ企業や第二創業をサポートし、雇用創出や地域経済の展に貢献することを目的としています。連携VCのキャピタリストやメンターによるメンタリングやピッチコンテスト、カンファレンス等様々な支援プログラムを提供し入居企業の成長機会を増やしています。また、100社を超える支援企業からなる「Fukuoka Growth Next支援協議会」では、入居企業の販路拡大やビジネスマッチングなどのにつながるカンファレンスを定期的に開催しています。



一般社団法人ベンチャー型事業承継

一般社団法人ベンチャー型事業承継は、中小企業の若手後継者の新規事業開発を支援するプラットフォームです。「ベンチャー型事業承継」とは、若手後継者が、先代から受け継ぐ有形・無形の経営資源を活用し、新規事業、業態転換、新市場参入など、新たな領域に挑戦することで、持続的な経営をめざし、社会に新たな価値を生み出すこと。ベンチャーといえば起業家という従来の固定観念を覆し、企業の存続力を強みに手堅く成長するアトツギベンチャーを、日本を代表する企業文化として根付かせるエコシステムの実現をめざします。

中小機構とは

中小機構は、経済産業省所管の中小企業政策全般にわたる総合的な実施機関として、成長ステージに合わせた多様な支援で中小企業の成長を応援しています。

ファンド出資で 資金調達を支援

中小機構は、ベンチャー・中小企業を対象に投資を行うファンドに出資者の立場で資金提供することにより、様々なステージの企業に資金調達の機会を提供しています。

事業展開を加速させる、 インキュベーション施設

全国29か所で、実験・研究開発にも対応した賃貸ラボを提供している「インキュベーション施設」。常駐するインキュベーションマネージャーが、新事業の事業化をサポートします。

ネットで、効果的な 販路拡大をサポート

大手企業とのマッチングサイト「J-GoodTech」、中小企業向け公的調達のサポートサイト「ここから調達」、海外進出時のベストパートナーとのマッチング「SWBS」、無料EC講座「ebiz」など、海外展開やeコマースをつかった販路開拓を後押しします。

起業、創業時の ビジネス創発をサポート

創業に関する様々なイベントやワークショップを提供する東京駅最寄りの交流スペース「TIP*S」、中小企業大学校東京校内(東大和市)に設けた創業支援施設「BusiNest」などを通じて新ビジネスの創発をサポートします。

「いつか」に備えた 共済制度

小規模事業者や個人事業主が使える廃業時の退職金制度「小規模企業共済」と、取引先の倒産時に備えた「経営セーフティ共済」を運営しています。かしく節税しながら「いつか」にそなえた準備ができる制度です。

ベンチャー、中小企業を サポートする豊富なメニュー

起業事例や補助金の情報提供サイト「J-Net21」、電話・メール・対面でできる無料の経営相談、全国で経営上のあらゆる相談に対応する「よろず支援拠点」など、ベンチャー・中小企業をサポートするためのさまざまなメニューを展開しています。




後援

 中小企業庁	 国立研究開発法人科学技術振興機構	 国立研究開発法人産業技術総合研究所	 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
 独立行政法人情報処理推進機構	 株式会社日本政策金融公庫	 株式会社日本政策投資銀行	 株式会社商工組合中央金庫
 日本商工会議所	 全国商工会連合会	 全国中小企業団体中央会	 一般財団法人ベンチャーエンタープライズセンター
 公益社団法人日本ニュービジネス協議会連合会	 全国イノベーション推進機関ネットワーク	 福岡市	 NPO法人ETIC
 全国地方新聞社連合会	 日本経済新聞社	 日本ベンチャー学会	 一般社団法人日本ベンチャーキャピタル協会

協力

 有限責任あずさ監査法人	 EY新日本有限責任監査法人	 NTTデータ株式会社	 DRIVE(運営:NPO法人ETIC)
 アントレサロン (運営:銀座セカンドライフ株式会社)	 グーグル合同会社	 月刊事業構想	 デロイト トーマツ デロイト トーマツ ベンチャーサポート株式会社
 INNOVATION LEADERS SUMMIT (運営:株式会社プロジェクトニッポン)	 日刊工業新聞社	 FUKUOKA Growth Next	 一般社団法人ベンチャー型事業承継

タイアッププロジェクト

 EJC 創業スクール	 ジャパン・ヘルスケアビジネスコンテスト	 Morning Pitch
---	--	--